

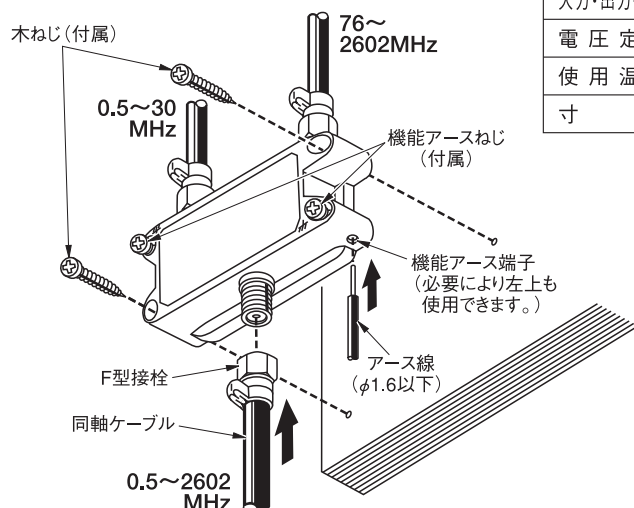
混合(分波)器

MODEL
RS-MX

●このたびは、日本アンテナの製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。

■特長

- 0.5～30MHz帯と76～2602MHz帯を混合(分波)する機器です。
- 接栓座とハウジングを一体化した垂鉛ダイカスト製、裏ブタは圧入装着式で、高度のシールド効果が得られています。



■標準性能表

入力端子	入力端子1	入力端子2	
周波数帯域 (MHz)	0.5~30	76~1500	1500~2602
通過帯域損失 (dB以下)	1	2	2.5
阻止帯域減衰量 (dB以上)	30	30	25
入力・出力インピーダンス (Ω)	75		
電圧定在波比 (以下)	1.8	2.0	2.5
使用温度範囲 (°C)	-10~+40(本体周囲温度)		
寸法 (mm)	57(高さ)×76(幅)×20.5(奥行)		

ポイント

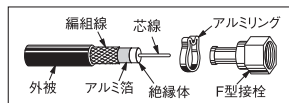
- 芯線の外径が1.5mm以下の同軸ケーブルをご使用ください。外径が1.5mmより大きい場合は、ピン付コネクターを使用してください。
- 付属品として木ねじ、機能アースねじがっています。

●同軸ケーブルの加工方法とF型接栓の取付方法(別売品)

◆用意するもの

カッターまたはナイフ、ハサミまたはニッパー、ペンチ。

■各部の名称



ポイント

- 絶縁体をカットするときは芯線をキズつけないように注意し、芯線が編組線とアルミ箔に接触していないかをご確認ください。
- 芯線に付着物がないか確認し、付着物がある場合には、きれいにしてください。
- 芯線の外径が1.5mm以下の同軸ケーブルをご使用ください。外径が1.5mmより太い場合は、ピン付接栓をご使用ください。(※同軸ケーブルを取換える場合は、以前使用していた同軸ケーブルと芯線の外径が同じ同軸ケーブルをご使用ください。)

●F型接栓締付トルク 約2.0N・m(約20kgf・cm)

4 編組線をめくりあげます。

5 編組線から3mmはなして絶縁体とアルミ箔を同時に切り、抜きとります。

6 F型接栓をアルミ箔と編組線の間にはさみ、アルミリングをペンチなどでつまんでしっかりとつぶしてください。

7 芯線の先端は1~2mm出し、斜めにカットしてください。

芯線が長いと接続端子を破損する場合があります。

芯線は斜めにカットすると挿入しやすい



注意

加工の際、切りくずの扱いや工具の使用には十分注意してください。思わぬケガの原因となります。

お客様窓口専用ダイヤル

(03) 3893-5243

ご利用時間 9:00~18:00(土・日・祝祭日・弊社休業日を除く)

情報通信が仕事です。

日本アンテナ株式会社

本社/〒116-8561 東京都荒川区西尾久7-49-8 ☎(03) 3893-5221(大代)
 (ホームページアドレス) <http://www.nippon-antenna.co.jp/>

※製品改良のため、仕様、外観の一部を予告なく変更することがあります。
 D832017200 平成22年5月